

保証書別添付

このたびは車載用リヤビューカメラをお買い上げいただき、ありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意

人へ危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤ったお使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明します。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
■ お守りいただく内容を次の図記号で説明します。(次は図記号の例です)	
禁止	してはいけない内容です。
実行	実行しなければならない内容です。
注意	気をつけていただく内容です。

△ 警告

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店またはお近くの「サービス相談窓口」にご依頼ください。(規定容量:1A)

機器内部に水や異物を入れない

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因となります。

目視による安全確認をする

モニター画面だけではなく、必ず目視による安全確認をしてください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり交通事故の原因となることがあります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウインカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻きつかないように引き回し、まとめて固定しておくなどしてください。事故の原因になります。

△ 警告

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施してください。火災や感電、事故の原因になります。

本機はDC12V-24Vマイナスアース車で使用する
DC12V-24Vマイナスアース車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない
 煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。
禁止
●直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない
 内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。
分解禁止
●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁する
 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は必ずバッテリーのマイナス端子を外しておく
 バッテリーのマイナス端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

車載用以外には使用しない
 車載用以外(例えはレジャーポートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。
禁止

指示に従って正しく配線・取り付けを行う
 説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因となります。

コードをかみこませたり、引っ張つたり傷つけない
 ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。
禁止

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けしない
 高圧洗車などで水がかかったり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部、ヒューズボックスに入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になります。

仕様

■ 使用電源 DC12V/24V
■ 映像出力 NTSC
■ 映像素子 1/4インチカラーCMOS
■ 画素数 約35万画素
■ 画角 水平約140° 垂直約115° 対角約170°
■ フレームレート 30fps
■ 解像度 720H x 480V
■ f値 2.6
■ 最小照度 0.1 lux
■ 防水構造 IP67
■ 消費電流 100mA
■ 動作温度 -30~70°C
■ 保存温度 -40~80°C
■ 消費電力 約0.5W
■ 本体サイズ 約23(W)×23(H)×26(D)mm
■ 本体重量 約35g(本体)

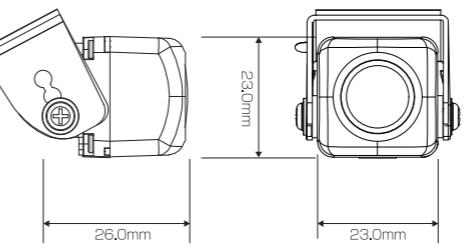
販売元：株式会社イノベイティブ販売
〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8
<http://www.innovativesale.co.jp/>

お問い合わせはサービスセンターへ

▼電話でのお問い合わせ
048-970-5027(通話料がかかります)
電話受付時間 平日 9:00~12:00, 13:00~17:00
(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

▼メールでのお問い合わせ
cs@innovativesale.co.jp

2021.08



トラブルシューティング

こんなとき	ここをお確かめください	こうしてください
カメラ映像が映らない	配線が外れている ヒューズが切れている	各コードの接続を確認してください。 ヒューズを交換してください。
映りがわるい	カメラにほこりや泥がついている	水を含ませて柔らかい布でレンズの汚れを拭いてください。強くこすると傷の原因になりますのでご注意ください。
太陽光や強い光が入射している		強い光が消えればもとの映像に戻ります。
暗いところを映している		夜間や暗い場所では画面が見えにくことがありますが、明るい場所に戻ればもともに戻ります。
部分的に明るい光を映している		暗い場所から明るい場所に移動した場合、画面が明るくなりすぎる場合がありますが、暗い場所に移動するとともに戻ります。

本機のお手入れ

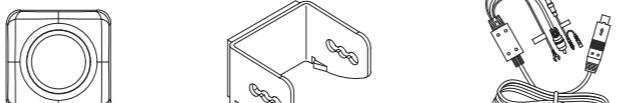
■ ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。

■ 研磨剤が配合された洗剤で拭かないでください。傷の原因となります。

■ レンズ部が汚れているときは、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。
乾いた布で強くこすると傷の原因となります。

構成部品

■ リヤビューカメラ本体 (約1.3mケーブルを含む) x1
■ U型プラケット (3Mテープ) x1
■ 延長ケーブル (約6m) x1



■ 固定用ネジx2 ■ 保護カバーx1 ■ 固定用バンドx3 ■ クランプx4



カメラの取り付けかた

取り付け位置について

2009年1月1日以降に製作された乗車定員10人未満の乗用車に車載力メラ等の外装品を取り付ける際、国土交通省公布の「外装の技術基準※」に準拠した取り付けが必要になります。取付位置に一部制限が発生する場合がありますので、ご注意ください。

外装の技術基準※(抜粋)

自動車の外部には、衝突時又は接触時に歩行者等に傷害を与えるおそれのある形状、寸法、方向又は硬さを有するいかなる突起も有してはならない。

対象車種

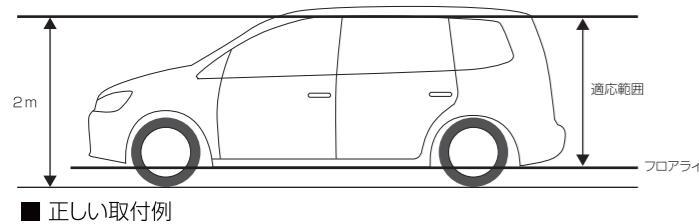
2009年1月1日以降に製作・登録された乗用車。
(乗車定員10人未満の、専ら乗用の用に供する自動車)

※法規の詳細については、国土交通省のホームページをご参考ください。

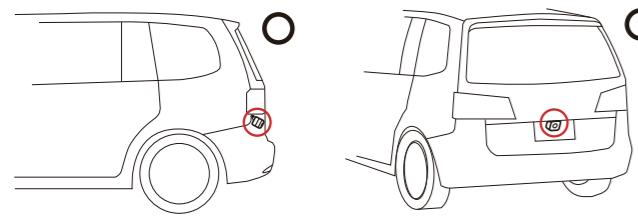
国土交通省ホームページ
<http://www.mlit.go.jp/index.html>

適応外となる部位

- 高さ2m以上の部分
- フロアラインより下の部分

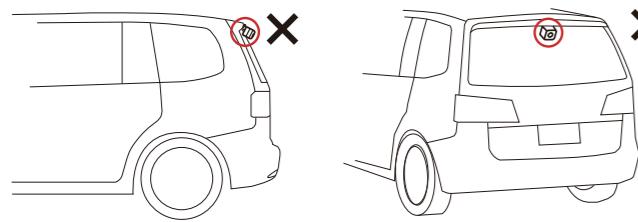


■ 正しい取付例



カメラ本体が車両に隠れるように取付してください

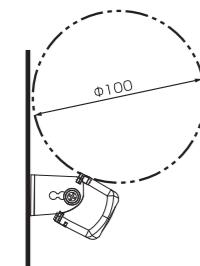
■ 誤った取付例



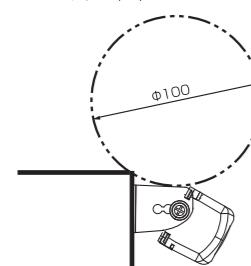
カメラ本体が車両に隠れないと車検に不適合になります

適合しない取付例

- カメラ本体後部が直径100mmの球と接触する

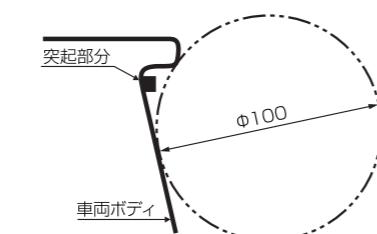


- 取付用U型プラケットが直径100mmの球と接触する

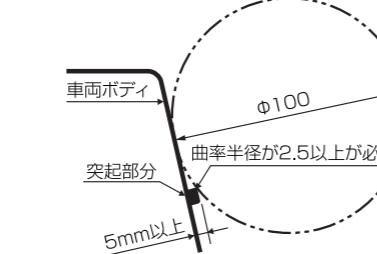


適合する取付例

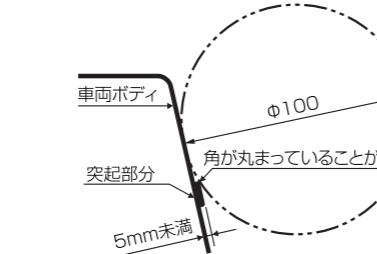
- 直径100mmの球体が接触していない



- 5mm以上の突起部分が、直径100mmの球と接触しているが、接觸部分の曲率半径が2.5mm以上である



- 5mm以内の突出部分が、直径100mmの球と接触しているが、接觸部分の角が丸処理されている

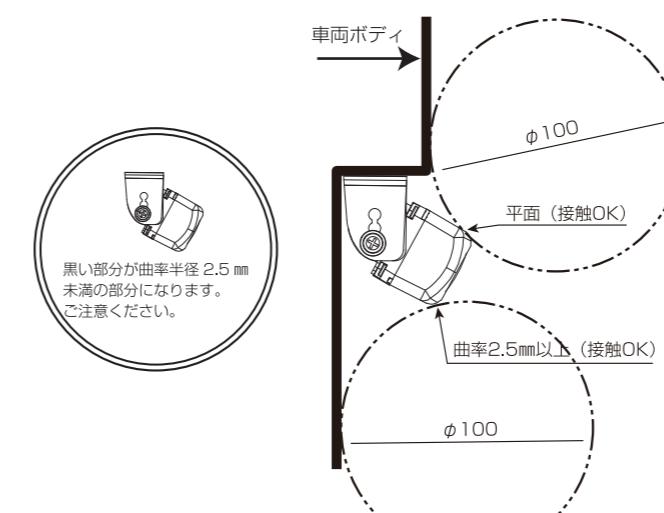


- 突起部分が1.5mm未満である



取付推奨位置(例)

- ナンバープレート周辺など車両の凹部で、ナンバープレートの視認性を妨げない場所に取り付けください。

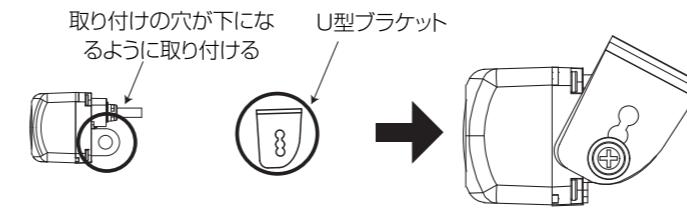


①カメラの位置を確認します

取り付けたい位置に合わせてカメラの角度を調整します。
凹凸のない平らな面を選んでください。

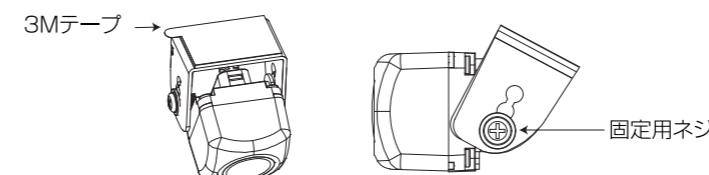
②U型プラケットにカメラを取り付ける

図のようにU型プラケットとカメラを取り付けます。ネジを仮止めしてください。
カメラ/U型プラケットの向きにご注意ください。

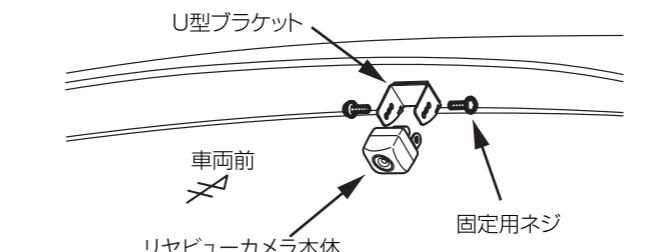


③U型プラケットを車体に取り付ける

U型プラケットを車体に仮止めで、カメラの角度を調整してください。
角度の調整完了後、ネジをきつく締めてください。
取り付け面の汚れをふき取り乾燥させたあとに、両面テープをはがし、車両にしっかりと取り付けてください。

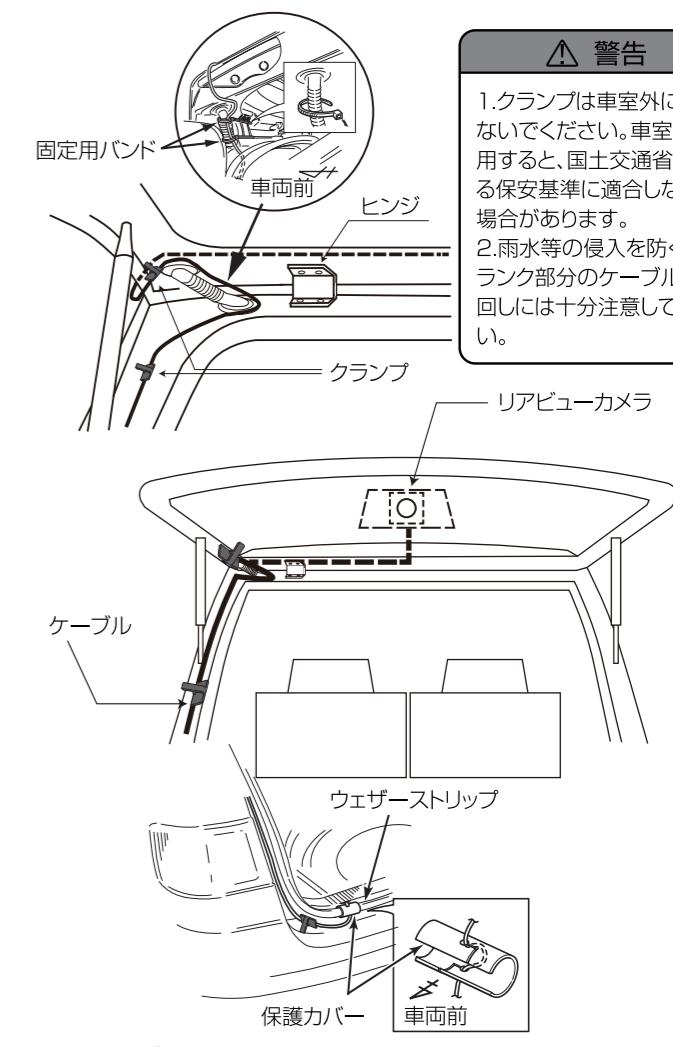


リヤスピーラー吊り下げ取り付け(例)



④ケーブルを配線する

バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないか充分に確認してください。傷ができるとカメラ内部に湿気や水が入り、壊れる原因となることがあります。



システム接続例

